未来こい!ネット通信

第26号

2023年2月27日 発行者 出雲市伊野地区 「未来こい!ネット」

学校のねらいは何か

子どもたちの伊野いち

伊野小学校山根博之先生から、 したので紹介します。 前号で、多久和心さんの伊野いち体験を紹介しました。今号では、 学校のねらいについて寄稿して頂きま



焼きいもを販売する小学生 いつも完売

にか

む人々の 地域活性化のために取り組 特産物について関心を高め を知る。二つ目は、 願いや工夫、苦労 地域の農業や を深め

いちに初めて参加 一十七年六月でした。 伊野小学校の児童 今から七年半前の 肌の平成の上のの が伊

学校の! ねらいを立てていました。加するにあたって、二つの 当時の資料を見てみます 体験することによって、 け、販売等の仕事を実際一つ目は、伊野いちに出 担任の先生は、 児童が伊野いちに参 伊野小 地域の

私が担任として伊野 1 5

が進んで伊野いちに関わろ参加するのではなく、自ら

地域の活動にゲストとして学習)を加えました。単に、

まとめたり表現したりする

収集し、整理・分析して、

うとする意識で参加させた どんな指導をしているか かを紹介します。 いと考えているからです。 て準備や指導をしている では、実際にどのように

上げるのに携わった山﨑敏としては、伊野いちを立ちいるのかを学びます。方法な願いを持って参加されて ちについての学習地域講師に招いて、 どのような人々がどのようった経緯でできたものか、 美さんや多久和祥司さんを まずは伊野いちがどうい いての学習をしま言に招いて、伊野い

たちは自分が伊野の役割が決まると、 役割が決まると、子ども いち実行委員会で小学生その後、私も参加する伊 いちでが

育む」という探究的 分で課題を設定し、 を立て実行していく中で、 創造力を 学習(自 えて伊野いちに臨みます。けたいかを、一人一人が考 りた してどのような力を

伊野いちに参加した後 子どもの心がどう動いたか

だか、どのような力がついに、どのようなことを学ん たのかを振り返ります。

た」、「笑顔で接客することいっぱいいてうれしかっらは、「買ってくれる人がらせ、「買ってくれる人が子どもたちの振り返りか の一員として地域に貢献た、ふるさとを愛し、地域た、なるさとを愛し、地域どの感想が見られました。 の方やお客さんと交流がですることができた」、「地域おもてなしコーナーで接客 に関わる力がついた」、「もきた」、「地域の人と積極的 いと願っています。力して継続していってほ ます。このようなすばらし 見られたことを嬉しく思 っと積極的になりたい」な きた」、「緊張したけれど、 問に丁寧に答えることが ができた」、「お客さんの し、自主的に参加する姿が 今後も地域と協 質 で

がっています。